

2025年度大学院説明会 (入学希望者向けガイダンス)



東京大学 大学院 医学系研究科
公共健康医学専攻

2024年5月25日(土)15:00-17:30

東京大学大学院医学系研究科

公共健康医学専攻

専攻長 橋本英樹

hidehashim@m.u-tokyo.ac.jp

パブリックヘルスとは

- “Public Health is the art and science of preventing disease, prolonging life and promoting physical and mental efficiency through the organized community efforts...”
 - * 組織された地域社会の取り組みを通して、
 - * 疾病予防、寿命延長、身体精神機能の増進を図る
 - * 科学であり技術である

Winslow CEA *Science* 1920; 51(1306): 23-33.

求める学生像（入試要項参照）

国内外の地域、職場、保健・医療・介護・福祉の場を含むあらゆるコミュニティにおいて、すべての人々の健康維持、増進、回復及び生活の質(quality of life)の改善に寄与する最先端研究を推進するとともに、公衆衛生領域で指導的及び実践的役割を果たす高度専門職業人として将来活躍することをめざす人

理論・研究能力×実践力(コンピテンシー)

＝高度公衆衛生専門職

求める学生像(アドミッションポリシー)

- 保健医療系あるいは公共健康医学に関連する広範な学術領域における学部教育の素養を有する。もしくは関連の実務経験を有すること。
- 公共健康医学に含まれる広範な領域に関する基礎知識及び関連専門分野について強い関心と学習意欲を備え、独創的な学術研究、政策立案、技術開発に取り組むことができる能力を持っていること。
- 論理的で明晰な分析力と、既成の概念にとらわれない新鮮な着想力で、公共健康医学の未来を切り拓いていく能力を持っていること。
- 大学院で獲得した高度な知識と研究能力を礎として、公共健康医学系領域の各分野において国際的なリーダーとして活躍できる能力を持っていること。

公共健康医学専攻 (School of Public Health)

公共健康医学専攻 (専門職学位課程)

疫学保健学講座 (Epidemiology and Health Sciences)

生物統計学 (Biostatistics)

社会予防疫学 (Social and Preventive Epidemiology)

臨床疫学・経済学 (Clinical Epidemiology and Health Economics)

医療コミュニケーション学 (Health Communication)

(がん疫学 Cancer Epidemiology)

行動社会医学講座 (Behavioral Health Sciences)

精神保健学 (Mental Health)

健康教育・社会学 (Health Sociology and Health Education)

保健社会行動学 (Health and Social Behavior)

医療倫理学 (Biomedical Ethics)

保健医療人材育成学 Human Resource Development for Health

医療科学講座 (Health Services Sciences)

健康医療政策学 (Health Policy)

医療情報システム学 (Healthcare Informatics)

臨床情報工学 (Clinical Information Engineering)

法医学・医事法学 (Forensic Medicine and Medical Law)

国際環境保健学 (Global Environmental Health)

保健医療科学 (Public Health Science)

(協力講座) 疾患生命工学センター・健康環境医工学

公共健康医学専攻の特徴(カリキュラム)

- ◆ 2年コースと1年コース(定員30人(およそ20+10人))
実務経験者向けの1年コース
- ◆ 多様な科目
必修科目と選択科目の組合せ
- ◆ コースワーク・フィールドワークの重視
講義・演習・実習の組合せ
ディスカッション重視
- ◆ 課題研究(2年コース必修)
教員による実務・研究指導
1年コースでも研究室所属・指導教員を推奨

公共健康医学専攻の授業科目

◆ 必修科目 統計 「医学データの統計解析」

◆ 選択必修から5科目

疫学 「疫学研究と実践」か「医学研究のデザイン」

行動・社会科学 5教科から2科目選択

医療管理 「健康医療政策」「医療情報」いずれか

環境保健 「産業保健」「環境健康医学」いずれか

上記6科目(計11単位)を指定

□ 課題研究(2年コースは必須)

公共健康医学専攻の授業科目(つづき)

◆ 選択科目(必修科目を含め30単位以上取得)

臨床疫学、臨床医学概論

社会と健康 I・II

合併科目: 国際保健政策学特論 I・II (英語)

インターンシップ(夏、春)

など、多様な授業科目を用意

他専攻・他研究科の科目は合計で8単位まで

(※1年間の単位取得上限50単位)

課題研究(2年コース必修)

- ◆ 研究内容による分類(学生の自己申告)
原著、公衆衛生活動報告、システム開発、
文献レビュー、その他

- ◆ 評価基準(以下の基準を総合して評価)
 1. テーマの新規性・独創性・実用性・有用性
 2. 論理的(科学的)な思考能力
 3. 方法(アプローチ)の妥当性
 4. 結論のimplication・テーマの発展性
 5. プレゼンテーション・質疑応答能力
 6. 本人の貢献度
 7. 文章・図表の完成度

課題研究のテーマの実例(2023年度)

- オンラインソーシャルサポート尺度日本語版の作成と信頼性・妥当性の検証
- がん治療におけるセカンドオピニオンの実態把握
- 気管支肺異形成を有する極早産児における気管切開術後の院内死亡率と関連する臨床的要因
- 認識された食品利用可能性と食事摂取量および食事の質との関連: 19~80歳の日本人成人を 対象とした全国横断研究
- iPhone歩数グラフ画像解析ツールの開発と画像調査協力者の特性検証: 身体活動の大規模・遡及的評価に向けて
- 地方自治体におけるガバナンス態勢とCOVID-19関連死亡率の関連; エコロジカル横断研究
- 高齢者の就労・退職選択とうつ症状および自覚的健康状態の関連; 予測就労確率を用いた比較
- ハウジングファースト型支援利用者の「ホームレス」経験に関する質的研究

2024年度学事スケジュール

- ◆ 4月 入学オリエンテーション、S1授業開始
- ◆ 6～7月 研究室配属説明会、配属先決定
キャリアデザイン懇談会
- ◆ 8～9月 夏季休業期間(集中授業等)
- ◆ 9月 A1授業開始

- ◆ 10月29～31日 日本公衆衛生学会(札幌市)
- ◆ 12月 課題研究論文提出締切、プレゼンテーション講習会

- ◆ 1月 課題研究発表会
- ◆ 2月 A2授業終了
- ◆ 3月 学位授与式

海外公衆衛生大学院との交流

- ◆ ソウル大学(学生支援機構資金)
- ◆ 北京大学(東アジア芸文書院プログラム)
- ◆ ハーバード大学
- ◆ 国立台湾大学、台北医科大学(MUO)
- ◆ ユニバーシティカレッジオブロンドン
- ◆ スタンフォード大学
- ◆ ロンドン大学衛生熱帯医学大学院

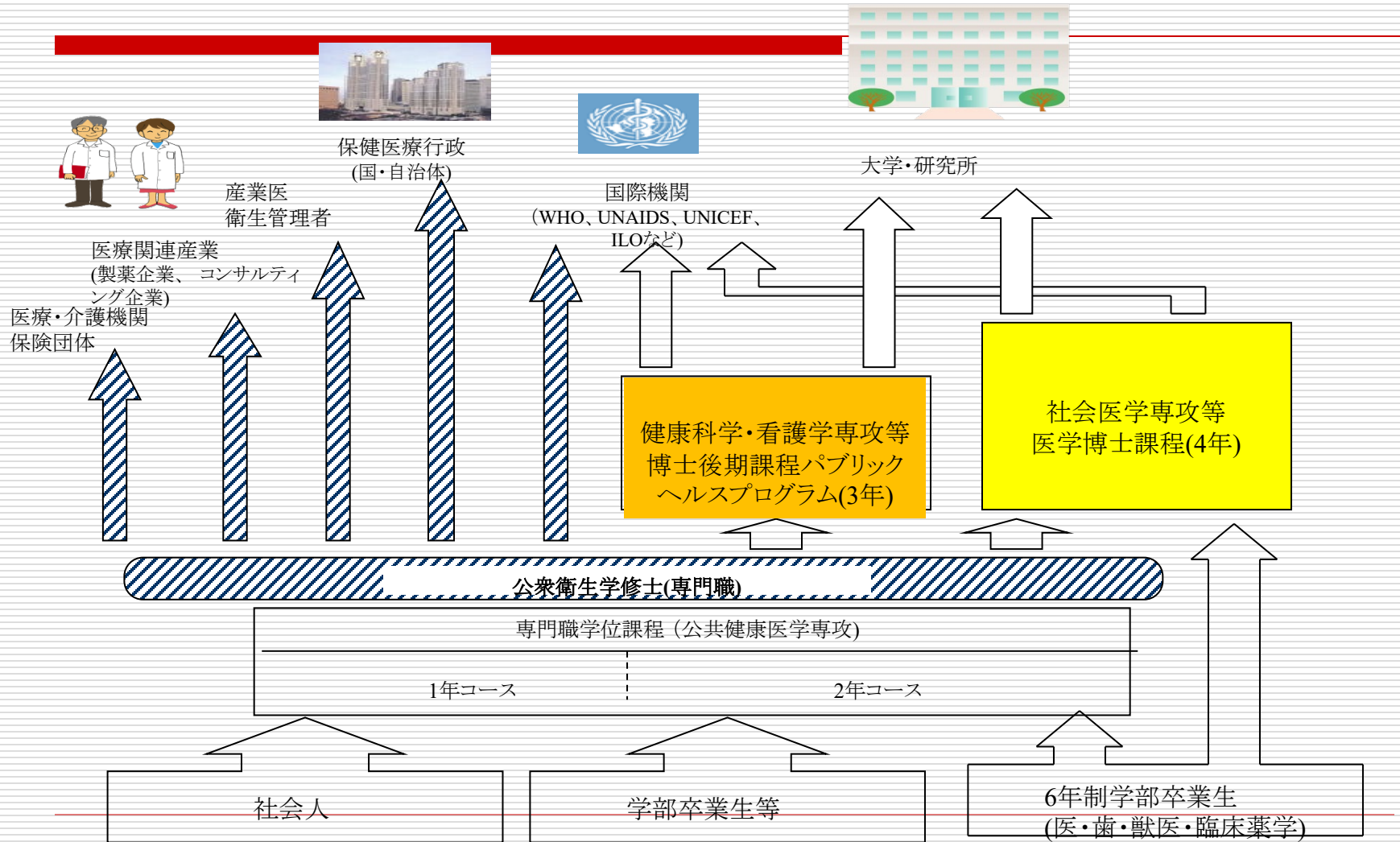
国際共同研究、各研究室で複数展開

(現在 学術振興会 2025海外連携研究事業申請中)



PeSeTo公衆衛生大学院
会議・シンポジウム
(2008, 2009, 2011,
2013, 2014, 2016,
2017, 2019, 2021,
2023年)

修了後の進路



修了者の進路

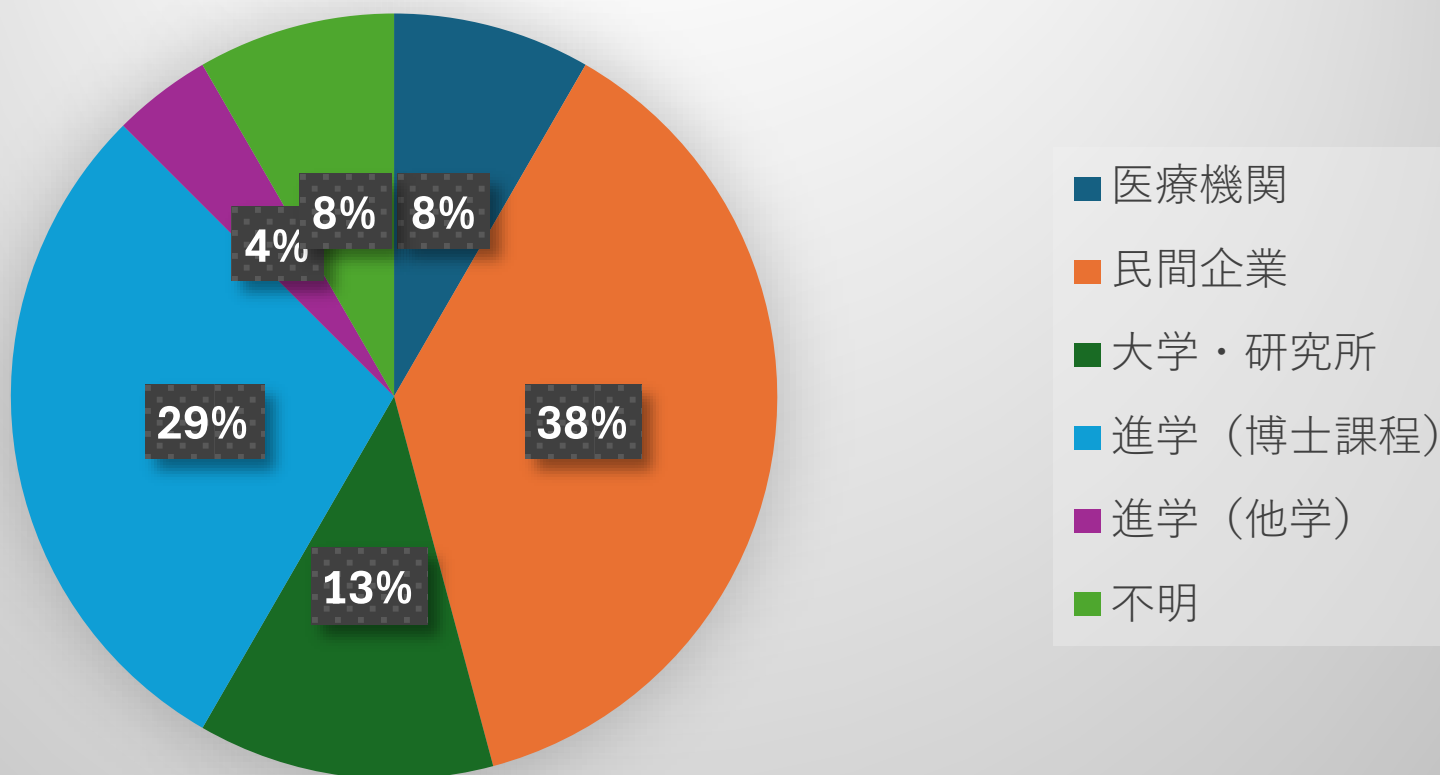
高度専門職業人として

- ◆ 公衆衛生行政、国際機関など
- ◆ 臨床研究・EBM、臨床試験の専門家
- ◆ 民間シンクタンク、NGO等の専門家
- ◆ 病院の医療経営・情報システムの専門家

研究者・教育者として

- ◆ 博士課程進学、教育研究機関など

2023年修了者進路 (N=24)



修了生による教育の評価

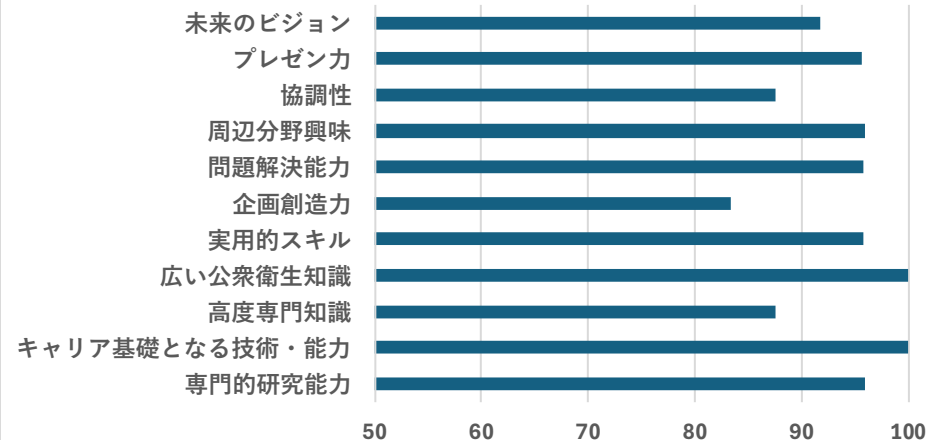
安定した修了時満足度：
もう一度入学前の状態に戻り、
大学院に進学するとしたら
第1希望で志望しますか？

=87.5%

第2志望＝現地実習がある海外校を考える、
幅広いのもいいが分野を絞り込みたい
学部からでなく社会人経験してからのほうがいい

修了後の専門知識の必要度と習得率
(2023年全修了生調査へ回答)

修了時点で向上したと思う？ (N = 24)



東京大学公共健康医学専攻同窓会

学びの場から実践の場へ



東京大学大学院 医学系研究科
公共健康医学専攻

専攻概要 分野・教員紹介 カリキュラム 入試情報 リンク ENGLISH



パブリックヘルスマインドを持った
公衆衛生リーダーの育成

急速に進行する少子高齢化、地方分権、突発的な新興・パライデロの発生、医療事などの現代的課題への対応は、公衆衛生の専門知識と実践能力を必要とする。

LATEST NEWS

すべて お知らせ 入試情報



平成31年度大学院説明会
(入試ガイダンス) について
2018.05.05



創立10周年記念シンポジウム開催報告
2018.03.20



25 projects with 12 countries
評価点検報告書
2018.03.20



ファカルティ・ディベロ
メント
2018.03.20



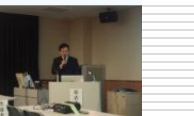
新設される国際環境保健学
分野准教授にYoonhee
Kim氏が聘任されます
2018.02.11



平成30年度新入生オリエン
テーションを実施します
2018.02.10



教員向け研修会(FD) を実
施しました
2018.01.11



平成29年度課題研究発表
が開催されました
2018.01.05

VIEW MORE

ホーム 東京大学SPHとは 東京大学SPH同窓会について 2017年度同窓会役員

修了生の紹介 同窓会総会のご案内 同窓会サロン 公衆衛生系大学院リンク

10th Anniversary of
U-Tokyo SPH Alumni



UTokyo SPH
Alumni

(最終更新2018年3月5日)

このサイトは、東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻（東京大学SPH）の同窓会公式サイトです。

New!2018年新年会を開催しました

New!第11回同窓会総会を開催しました

New!第11回SPHサロンを開催しました

最近の投稿

- 第12回SPHサロン開催のお知らせ
- 2018年新年会を開催しました
- 第11回同窓会総会を開催しました
- 第11回SPHサロンを開催しました
- 第11回SPHサロン開催のお知らせ
- 熊本県見学申し込み

検索 ...

メタ情報

- ログイン
- 投稿のRSS
- コメントのRSS
- WordPress.org

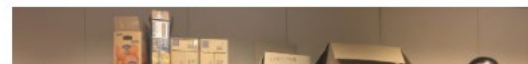
東京大学SPH同窓会公式Facebookはこちら

東京大学SPHは、2007年に開講された日本で3番目の公衆衛生大学院です。2014年3月までに公衆衛生学修士（専門職）として186名が学位を受け、厚生労働省や保健所といった公衆衛生専門機関をはじめ、大学・研究所や医療機関、民間企業など幅広い分野で活躍しています。

東京大学SPH紹介動画はこちら

東京大学SPH 同窓会は1期生が卒業した2008年3月に設立され、修了生同士の交流や現役学生との意見交換、他大学や海外のSPH学生・OB、これから公衆衛生大学院で学びたい方々との交流促進などを実施しています。

同窓会理事会メンバー(2018年2月7日)



公共健康医学専攻での学びを通じて 伸ばしてもらいたいコンピテンシー

- 人々の命と生活を守るpublic health専門家となることの責任(professionalism)を意識する
- 多様な立場や考え方を持つメンバーと、多様性を尊重しチームとして活動するメリットを最大限活かす
- 積極的に授業・イベントに参加する。授業外でも教員をしっかり利用する。生徒ではなく「public health spiritを共有する同志」として
- 「ビジョンを持ち、それを現実に変える」change agentとして(ひとりひとりの)リーダーシップを意識する(トップで仕切るという意味ではない)

2025年度選抜 入試について

- 昨年度と同じく対面による従来方式の試験選抜方式
 - 小論文
 - 公衆衛生学基礎・統計学(マークシート式)
 - 英語(3題)
 - 専門科目(4分野選択、筆記)
- 成績上位者につき2次面接を実施
- TOEFL/IELTSの提出は不要
- オンラインによる入試は併施しない

主なQ & A

- 就業しながら就学できるか？
 - 就学中は学業優先にするという職場の了解(上司などからの承諾書)の提出などが条件。いわゆる社会人入学枠はありません。
- 1年コースの募集資格は
 - 募集要項に記されているとおり。該当するか否かはっきりしない場合は事前審査(締め切り日に注意)が必要。事前審査をしなくても応募すること自体は妨げない
- 1年コースの場合研究室配属はないのか
 - 必須ではないが、推奨。課題研究など含めて配属研究室を求めることを推奨
- 社会医学専攻と健康科学看護学専攻パブリックヘルスプログラムの違いは？
 - 修了年限の違い(4年と3年)、担当研究室の違い(ホームページ参照)です。博士課程希望者は入学希望先の研究室教員とまず連絡して相談してください。
- 厚生労働省教育訓練給付制度による補助金申し込み資格はありますか？
 - 1年プログラムについて現在適用が取れていません。次年度以降再申請の予定です

関連書類はこちらで入手可能です

□ 募集要項

<https://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/file/SPH2025.pdf>



□ 入学手続書類

<https://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/file/SPHinfo2025.pdf>



公共健康医学専攻と関連した博士課程

<http://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html>



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻



大学院生募集

●入試説明会 ※事前申込み不要
2018年5月12日(土)
東京大学 本郷キャンパス
医学部教育研究棟
鉄門記念講堂

●研究分野
家族看護学 高齢者在宅長期ケア看護学
緩和ケア看護学 精神看護学 地域看護学
行政看護学 母性看護学・助産学
看護管理学 看護体系・機能学
老年看護学 創傷看護学
ライフサポート技術開発学
アドバンストナーシングテクノロジー



東京大学大学院医学系研究科 社会医学専攻 医学博士課程 入試説明会



2020年度入学希望者向け社会医学専攻医学博士課程の入試説明会を開催いたします。
ご関心のある方は、この機会にご参加ください。

日時: 2019年6月1日(土) 13時~14時半
場所: 東京大学医学部教育研究棟14F鉄門記念講堂

専攻及び各分野の簡単な紹介と説明の後、個別に質疑応答を行います。

社会医学専攻の紹介	大江 和彦(専攻長)
各分野の紹介	
衛生学	石川 俊平
公衆衛生学分野	小林 康毅
法医学分野	岩瀬 博太郎
医療情報学分野	大江 和彦
健康環境医工学分野	村上 誠
医療コミュニケーション学分野	木内 貴弘
臨床情報工学分野	小山 博史
臨床疫学・経済学分野	康永 秀生
社会予防疫学分野	佐々木 敏
精神保健学分野	川上 憲人
保健社会行動学分野	橋本 英樹・近藤尚己
医療倫理学分野	赤林 朗
がん政策科学分野(連携)	東 尚弘
がん疫学分野(連携)	井上 真奈美
がんコミュニケーション学分野(連携)	高山 智子



これらもオンラインでの実施・提出書類の追加など変更修正の可能性がある
ので、ホームページ他頻回にチェックしてください

健康科学・看護学専攻(博士後期課程) パブリックヘルスプログラム

- 健康科学・看護学専攻(博士後期課程)において、公衆衛生関連領域の教育・研究に関連の深い健康科学講座が1つになり、パブリックヘルスプログラムを立ち上げ
- 公衆衛生に関する教育研究を、修士課程(専門職)から博士後期課程までシームレスに行うことを目的とする
- SPHの分野によっては社会医学専攻(4年制)のみに属するもの(法医・政策・臨床情報工学・臨床疫学経済学)、PHプログラムのみに属するもの(生物統計学)、健看・社医双方に関連するものがある
- 分野や研究テーマにより選択が異なるので受験前に必ず希望研究室との相談をすること

健康科学・看護学専攻(博士後期課程)

パブリックヘルスプログラムの組織

〈 専門職学位課程 〉

※パブリックヘルスプログラム

公共健康医学専攻

*博士後期課程は社会医学専攻

社会予防疫学
医療コミュニケーション学
医療情報システム学
臨床情報工学*
医療倫理学
保健社会行動学
健康教育・社会学
精神保健学
生物統計学
法医学・医事法学*
健康医療政策学*
臨床疫学・経済学*

社会予防疫学※
保健医療情報学※
医療倫理学※
健康学習・教育学※
健康社会学※
精神保健学※
生物統計学※
疫学・予防保健学※
精神保健政策学※

協力講座

健康科学講座

パブリックヘルスプログラムへの 入学が想定される者

□ 公衆衛生学修士課程修了者

- 本学医学系研究科公共健康医学専攻(専門職学位課程)
- 他学公衆衛生大学院専門職修士・修士課程修了者

□ その他の修士課程修了者

- 本学、他学を問わず

□ 修士号取得済みの社会人経験者

パブリックヘルスプログラム各分野の概要(1)

分野名	教員	研究内容
社会予防疫学	佐々木敏教授	栄養疫学、公衆栄養学、社会予防疫学
保健医療情報学	准教授担当	医学知識ベース、病院情報システム、AI、健康アプリ開発
医療コミュニケーション学	木内貴弘教授	ヘルスコミュニケーション、メディアコミュニケーション
医療倫理学	赤林 朗 瀧本禎之	生命・医療倫理学全般(様々な人文・社会科学的方法論を用いる)、臨床倫理、研究倫理、看護倫理、保健・医療行政、保健・医療経済 医療倫理学、臨床倫理、臨床倫理コンサルテーション、意思決定プロセス

パブリックヘルスプログラム各分野の概要(2)

分野名	教員	研究内容
健康学習・教育学 健康社会学	橋本英樹教授	社会・経済・文化的要因と健康との関連に関する社会行動学的研究 運動疫学(鎌田講師担当)
精神保健学	西 大輔教授	地域における精神障害の疫学、職場のメンタルヘルス、災害・国際精神保健 うつ病・PTSD の予防、栄養精神医学、レジリエンス、外傷後成長
生物統計学	松山 裕教授	生物統計学、医学研究の計画と医学データ解析、臨床試験の方法
疫学・予防保健学	松山 裕教授 (兼) 大庭幸治准教授	疫学、疫学研究の計画と解析、理論疫学 疫学、疫学研究の計画と解析、メタ・アナリシス
精神保健政策学 (連携講座)	金吉晴連携教授	心理的トラウマ、災害精神保健、疫学、バイオマーカー、支援制度、政策、治療

健康科学看護学パブリックヘルスプログラムの入試について

- SPH・国際保健学修士など内部進学者
 - 学力・英語試験は免除、修士論文・課題論文の発表義務、面接での研究計画の提示
- 外部の修士相当修了者について
 - 英語(TOEFL/IELTS)
 - 学力試験(専門科目) 実施形態については要綱に
 - 修士論文相当の学修実績の発表義務